



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年2月1日

上場会社名 アステラス製薬株式会社
 コード番号 4503
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

上場取引所 東証一部・大証一部
 U R L <http://www.astellas.com/jp/>
 (氏名) 野木森 雅郁
 (氏名) 河村 真 T E L (03) 3244-3201
 配当支払開始予定日 ———

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年3月期第3四半期	734,281 △ 5.0	121,060 △ 33.7	117,430 △ 36.2	79,156 △ 31.8
22年3月期第3四半期	772,778 1.8	182,620 △ 17.4	184,004 △ 24.4	116,061 △ 23.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	171 40	171 21
22年3月期第3四半期	247 67	247 47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	1,302,318	1,004,111	77.0	2,171 10
22年3月期	1,364,176	1,053,933	77.1	2,278 77

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,002,661 百万円 22年3月期 1,052,375 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	60 00	—	65 00	125 00
23年3月期	—	60 00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	65 00	125 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	942,000 △ 3.4	124,000 △ 33.5	122,000 △ 36.1	82,000 △ 32.9	177 56

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.8「その他の情報」をご覧ください。）

（1）当四半期中における重要な子会社の異動：無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期第3四半期	467,964,635 株	22年3月期	475,964,635 株
-------------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

23年3月期第3四半期	6,142,749 株	22年3月期	14,146,832 株
-------------	-------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期第3四半期	461,824,259 株	22年3月期第3四半期	468,613,634 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.7をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 6
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 7
2. その他の情報	P. 8
（1）重要な子会社の異動の概要	P. 8
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 8
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 8
3. 四半期連結財務諸表	P. 9
（1）四半期連結貸借対照表	P. 9
（2）四半期連結損益計算書	P.11
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P.12
（4）継続企業の前提に関する注記	P.13
（5）セグメント情報	P.13
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P.13
（7）その他注記情報	P.13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（2010年4月1日から12月31日までの累計期間、以下同じ。）の連結業績は、以下の通り売上高は減収、営業利益、経常利益、四半期純利益は減益となりました。

なお、当第3四半期の為替レートは、前年同期に比べ、米ドルに対して7円、ユーロに対して20円の円高となったことから、売上高において361億円の減収、営業利益においては33億円の減益の影響がありました。

[連結業績]

(単位：百万円、端数切捨て)

	前第3四半期 (2010年3月期)	当第3四半期 (2011年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	772,778	734,281	△38,497 (△5.0%)
営業利益	182,620	121,060	△61,559 (△33.7%)
経常利益	184,004	117,430	△66,573 (△36.2%)
四半期純利益	116,061	79,156	△36,905 (△31.8%)

当第3四半期の為替レート：87円／米ドル、113円／ユーロ
前第3四半期の為替レート：94円／米ドル、133円／ユーロ

<OSI Pharmaceuticals, Inc.（以下、OSI社）の買収に伴う資産等の評価及び取得原価配分結果の概要について>

当社が2010年6月に買収したOSI社に関し、本買収に伴う資産等の公正価値評価及び取得原価配分結果は以下の通りです。

- ・取得原価：3,543百万ドル

・資産等の評価及び取得原価配分結果の概要

	2010年6月30日 資産等の評価及び 取得原価配分後	当第3四半期 連結累計期間の 償却額	備考
無形資産（特許権）			
既発売・既承認分	2,024百万ドル	128百万ドル	個別に設定した 償却期間で均等償却
仕掛研究開発分	791百万ドル	—	発売後、個別に設定した 償却期間で均等償却
無形資産に対する繰延税金負債	△1,083百万ドル	—	—
その他資産・負債（純額）	690百万ドル	—	—
のれん	1,122百万ドル	28百万ドル	償却年数20年
合計		156百万ドル (135億円*)	

*円貨額は、当第3四半期連結累計期間における期中平均為替レートで換算

<売上高>

連結売上高は7,342億円（前年同期比5.0%減）となりました。

- ・ グローバル製品では、過活動膀胱治療剤**ベシケア**、キャンディン系注射用抗真菌剤**ファンガード／マイカミン**が着実に伸長しました。免疫抑制剤**プログラフ**は、米国において後発医薬品が発売されたことに伴う競争激化により売上が減少しました。また、前立腺肥大症の排尿障害改善剤**ハルナール**は、米国での後発医薬品発売に伴いライセンシーからのバルク・ロイヤリティ収入が大幅に減少しました。国内市場においては、薬価改定の影響を受けましたが、新製品群の寄与などにより順調に拡大しました。
- ・ なお、OSI社買収に伴い同社の売上高220億円を計上しています。

（地域別売上の状況）

※地域別売上高については売上元会社の所在地を元に集計しています。

◇ 日本

日本の売上高は4,236億円（同0.1%減）となりました。このうち国内市場での売上高は、2010年4月に実施された薬価改定の影響を受けたものの順調に拡大し、4,106億円（同0.5%増）となりました。

- ・ **プログラフ**、**ベシケア**のほか、非ステロイド性消炎・鎮痛剤**セレコックス**、入眠剤**マイスリー**、統合失調症治療剤**セロクエル**などが伸長しました。
- ・ また、2010年1月に発売した成人気管支喘息治療剤**シムビコート**などの新製品群が売上拡大に寄与したほか、持続性アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤**ミカルディス**が、利尿剤との配合剤である**ミコンビ**および2010年10月に発売したカルシウム拮抗剤との配合剤である**ミカムロ**と併せ売上を拡大しました。

- ・ 一方、消化性潰瘍・胃炎治療剤**ガスター**、**ハルナール**、高コレステロール血症治療剤**リピトール**などの売上が減少しました。

◇ 海外

米州の売上高は1,392億円（同1.7%減）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は1,603百万ドル（同5.9%増）となりました。

- ・ **ベシケア**、**マイカミン**に加え、心機能検査補助剤**レキスキャン**が伸長しました。一方、**プログラフ**は後発医薬品の発売に伴う競争激化により減収となりました。

・ なお、OSI 社買収に伴い、同社の売上高220億円を米州の売上に計上しました。欧州の売上高は1,460億円（同20.6%減）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は1,288百万ユーロ（同6.9%減）となりました。

- ・ **ベシケア**、**マイカミン**が着実に伸長しました。
- ・ **プログラフ**は、為替の影響により減少しましたが、1日1回製剤の**アドバグラフ**の寄与などもあり、現地通貨ベースでは着実に伸長しました。なお、**プログラフ**については、欧州においてすでに複数の国で後発医薬品の発売が確認されています。
- ・ また、**ハルナール**は、2010年3月に米国で後発医薬品が発売されたことに伴いライセンシーからのバルク・ロイヤリティ収入が大幅に減少しました。

アジアの売上高は253億円（同10.3%増）となりました。

- ・ **プログラフ**、**ハルナール**、**ベシケア**、**マイカミン**などが順調に拡大し、増収となりました。

<営業利益>

連結営業利益は1,210億円（同33.7%減）となりました。

- ・ 売上高の減少に加えて、売上原価率が品目構成の変化などにより30.7%（同0.4ポイント上昇）となったことから、売上総利益は5,087億円（同5.5%減）となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費合計は3,877億円（同8.9%増）となりました。このうち、研究開発費は1,553億円（同10.9%増）となりました。また、対売上高研究開発費比率は、前年同期より3.1ポイント上昇し21.2%となりました。開発プロジェクトの進展に伴う費用が増加したほか、米国リジェネロン社とのヒトモノクローナル抗体開発技術（**VelocImmune antibody technology**）に関する契約延長（2010年7月締結）に伴う一時金など、導入一時金が増加しました。また、OSI 社の研究開発費84億円を計上しました。
- ・ 研究開発費を除く販売費及び一般管理費は2,324億円（同7.6%増）となりました。新製品発売や事業エリア拡大に伴う販売促進費の増加に加え、**ハルナール**に関する米国でのコ・プロモーション契約が満了したことに伴い、ライセンシーからの経費の戻入れが前年同期と比べ減少しました。また、OSI 社の買収に伴う企業結合会計により計上した無形資産の減価償却費及びのれん償却費計135億円を計上しました。

＜経常利益＞

連結経常利益は1,174億円（同36.2%減）となりました。

- ・ 営業外収益は、運用資金の低下などにより受取利息が減少したことから、前年同期に比べ17億円減少し26億円となりました。また、営業外費用は、為替差損が増加したことから前年同期に比べ32億円増加し62億円となりました。

＜四半期純利益＞

連結四半期純利益は791億円（同31.8%減）となりました。

- ・ 特別利益は、投資有価証券売却益を計上したことなどから11億円となりました。特別損失は、OSI 社買収に伴う事業統合費用34億円を計上したことなどから59億円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

＜貸借対照表＞

当第3四半期末（2010年12月31日時点）における総資産は、1兆3,023億円（前期末比618億円減）となりました。第1四半期においてOSI社の株式を取得したことなどから、現金及び預金が1,716億円、有価証券が2,054億円減少しました。一方で、OSI社株式の取得により特許権、のれんを計上したことから無形固定資産が増加しました。

負債は、2,982億円（同120億円減）となりました。未払金など、その他の流動負債が減少しました。一方で、OSI社に係る企業結合会計に伴い繰延税金負債を計上したことなどからその他の固定負債が増加しました。

なお、第1四半期において実施した短期借入金は全額返済しました。

純資産は、1兆41億円（同498億円減）となり、自己資本比率は77.0%となりました。四半期純利益791億円を計上した一方で、剰余金の配当577億円を実施しました。また、為替換算調整勘定が純資産の減少方向に681億円変動しました。

なお、2010年5月31日に自己株式の消却306億円（800万株）を実施しております。

＜キャッシュ・フロー計算書＞

営業活動によるキャッシュ・フローは830億円（前年同期比266億円減）となりました。税金等調整前四半期純利益が679億円減少した一方で、法人税等の支払額が349億円減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは△2,295億円（同1,912億円支出増）となりました。OSI社株式の取得に2,877億円支出しました。一方で、有価証券の売却と取得による収支が816億円の収入（同754億円増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは△936億円（同83億円支出増）となりました。配当金の支払額は577億円（同13億円増）となりました。また、OSI社の発行していた社債の償還による支出354億円が計上されています。一方で、前年同期と比較して自己株式の取得による支出が269億円減少しました。

これらの結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は1,592億円（前期末比2,727億円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想は下表の通りです。2010年11月に公表した予想数値からの変更はありません。

[通期連結業績予想]

(単位：百万円、端数切捨て)

	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上高	974,877	942,000	△32,877 (△3.4%)
営業利益	186,407	124,000	△62,407 (△33.5%)
経常利益	190,986	122,000	△68,986 (△36.1%)
当期純利益	122,257	82,000	△40,257 (△32.9%)

(注) 2011年3月期通期の想定為替レート：84円/米ドル、112円/ユーロ

2010年3月期通期の為替レート（実績）：93円/米ドル、131円/ユーロ

(注意事項)

資料中の業績見通し数値及び開発見通し等の将来に関する記述は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。そのような要因の例としては、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的財産権に対する侵害、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動について、該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ・ 簡便な会計処理

該当事項はありません。

- ・ 特有の会計処理

- [税金費用の計算]

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

- [資産除去債務に関する会計基準の適用]

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ57百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は617百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は559百万円であります。

[持分法に関する会計基準及び持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用]

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益への影響はありません。

- [企業結合に関する会計基準等の適用]

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	140,541	312,196
受取手形及び売掛金	274,178	228,088
有価証券	19,594	225,078
商品及び製品	76,048	82,749
仕掛品	14,970	12,152
原材料及び貯蔵品	19,539	16,151
その他	88,674	113,777
貸倒引当金	△1,218	△1,650
流動資産合計	632,328	988,544
固定資産		
有形固定資産	185,017	184,489
無形固定資産		
のれん	103,313	22,159
特許権	235,810	—
その他	22,605	40,601
無形固定資産合計	361,729	62,760
投資その他の資産		
投資有価証券	64,032	70,797
その他	59,307	57,640
貸倒引当金	△97	△56
投資その他の資産合計	123,242	128,382
固定資産合計	669,989	375,632
資産合計	1,302,318	1,364,176
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,212	84,024
未払法人税等	14,467	21,216
引当金	4,168	3,732
その他	112,118	168,184
流動負債合計	228,966	277,157
固定負債		
退職給付引当金	16,274	17,638
その他の引当金	44	24
その他	52,920	15,422
固定負債合計	69,239	33,085
負債合計	298,206	310,243

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,000	103,000
資本剰余金	176,821	176,821
利益剰余金	885,871	895,101
自己株式	△23,511	△54,160
株主資本合計	1,142,182	1,120,763
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,168	14,153
為替換算調整勘定	△150,688	△82,542
評価・換算差額等合計	△139,520	△68,388
新株予約権	1,449	1,205
少数株主持分	—	352
純資産合計	1,004,111	1,053,933
負債純資産合計	1,302,318	1,364,176

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	772,778	734,281
売上原価	234,093	225,485
売上総利益	538,685	508,796
販売費及び一般管理費	356,065	387,735
営業利益	182,620	121,060
営業外収益		
受取利息	2,461	879
受取配当金	1,085	1,145
持分法による投資利益	166	—
その他	638	587
営業外収益合計	4,351	2,612
営業外費用		
持分法による投資損失	—	21
為替差損	2,183	5,754
その他	783	466
営業外費用合計	2,967	6,242
経常利益	184,004	117,430
特別利益		
固定資産売却益	45	295
投資有価証券売却益	—	853
その他	164	30
特別利益合計	209	1,180
特別損失		
固定資産除売却損	1,755	830
減損損失	1,056	—
買収に伴う事業統合費用	—	3,498
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	559
その他	732	1,046
特別損失合計	3,544	5,934
税金等調整前四半期純利益	180,669	112,676
法人税等	63,149	33,519
少数株主損益調整前四半期純利益	—	79,156
少数株主利益	1,457	—
四半期純利益	116,061	79,156

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	180,669	112,676
減価償却費	28,307	38,838
減損損失	1,056	—
のれん償却額	5,960	8,078
受取利息及び受取配当金	△3,546	△2,025
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,710	534
売上債権の増減額 (△は増加)	△40,397	△49,251
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,188	△9,300
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,206	20,359
その他	3,321	1,538
小計	181,099	121,448
利息及び配当金の受取額	3,718	2,004
利息の支払額	—	△225
法人税等の支払額	△75,063	△40,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,754	83,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△137,324	△2,797
有価証券の売却による収入	143,508	84,433
有形固定資産の取得による支出	△28,365	△25,321
有形固定資産の売却による収入	936	395
無形固定資産の取得による支出	△20,793	△7,878
投資有価証券の取得による支出	△9,370	△1,054
投資有価証券の売却による収入	6,694	5,016
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△287,746
その他	6,411	5,433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,301	△229,518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	—	△35,429
自己株式の取得による支出	△26,986	△22
配当金の支払額	△56,401	△57,727
少数株主への配当金の支払額	△1,454	—
その他	△451	△455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,294	△93,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	△741	△32,643
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,582	△272,701
現金及び現金同等物の期首残高	409,826	431,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	395,243	159,218

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

【事業の種類別セグメント情報】

当社グループの事業は、販売方法及び製品の種類、性質、製造方法の類似性を考慮して「医薬品及びその関連製品事業」とこれに属さない「その他の事業」に区分しております。全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「医薬品及びその関連製品事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

（単位：百万円、端数切捨て）

	日本	北米	欧州	アジア	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	424,128	141,649	183,997	23,003	772,778	—	772,778
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	89,742	49,755	51,210	22	190,732	(190,732)	—
計	513,870	191,405	235,208	23,026	963,511	(190,732)	772,778
営業利益	117,505	17,669	40,807	2,836	178,819	3,800	182,620

【海外売上高】

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	178,614	139,653	31,138	11,125	360,532
II 連結売上高 (百万円)					772,778
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.1	18.1	4.0	1.5	46.7

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他注記情報

【研究開発費の総額】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

140,101百万円

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

155,311百万円

2011年3月期第3四半期決算 補足情報

【業績情報】

1. 連結損益の詳細
2. 地域別売上高・営業利益
3. 為替レートの状況
4. 研究開発費の状況
5. 医療用医薬品事業の詳細
6. 連結貸借対照表

【開発品情報】

新薬開発状況

【業績情報】

1. 連結損益の詳細

(億円)

	10/3期 3Q	11/3期 3Q	増減	増減率
売上高	7,727	7,342	-384	-5.0%
売上原価 (売上高比率)	2,340 30.3%	2,254 30.7%	-86	-3.7%
売上総利益	5,386	5,087	-298	-5.5%
販売費・一般管理費 (売上高比率)	3,560 46.1%	3,877 52.8%	316	8.9%
研究開発費	1,401	1,553	152	10.9%
研究開発費を除く販売費・一般管理費 内、広告費・販売促進費 人件費 その他費用	2,159 603 888 667	2,324 647 897 778	164 43 9 111	7.6% 7.3% 1.0% 16.7%
営業利益 (売上高比率)	1,826 23.6%	1,210 16.5%	-615	-33.7%
営業外収益 内、為替差益	43 -	26 -	-17	-40.0% -
持分法による投資利益	1	-	-1	-
営業外費用	29	62	32	110.4%
内、為替差損	21	57	35	163.5%
経常利益 (売上高比率)	1,840 23.8%	1,174 16.0%	-665	-36.2%
特別利益 内、投資有価証券売却益	2 -	11 8	9	463.1% -
特別損失 内、固定資産除売却損	35 17	59 8	23 -9	67.4% -52.7%
買収に伴う事業統合費用 その他	- 17	34 16	34 -1	- -10.3%
税金等調整前当期純利益（税金等調整前四半期純利益）	1,806	1,126	-679	-37.6%
法人税等	631	335	-296	-46.9%
少数株主利益	14	-	-14	-
当期純利益（四半期純利益） (売上高比率)	1,160 15.0%	791 10.8%	-369	-31.8%

10/3期 通期
9,748
2,892 29.7%
6,856
4,992 51.2%
1,955 3,036
877 1,200
958
1,864 19.1%
51 2 0 5 -
1,909 19.6%
30 27 72 22 - 49
1,868 626 19
1,222 12.5%

11/3期 通期予想	増減率 (対10/3期)
9,420	-3.4%
2,060	5.3%
1,240 13.2%	-33.5%
1,220 13.0%	-36.1%
820 8.7%	-32.9%

2. 地域別売上高・営業利益

(億円)

	10/3期 3Q	11/3期 3Q	増減	増減率	10/3期 通期	11/3期 通期予想	増減率 (対10/3期)
外部売上高		7,727	-384	-5.0%	9,748	9,420	-3.4%
	日本	4,241	-4	-0.1%	5,292	5,356	1.2%
	(構成比)	54.9%			54.3%	56.9%	
	米州	1,416	-24	-1.7%	1,798	1,894	5.4%
	(構成比)	18.3%			18.4%	20.1%	
欧州	1,839	1,460	-379	-20.6%	2,358	1,834	-22.3%
(構成比)	23.8%	19.9%			24.2%	19.5%	
アジア	230	253	23	10.3%	299	336	12.1%
(構成比)	3.0%	3.5%			3.1%	3.6%	
営業利益		1,826	-615	-33.7%	1,864	1,240	-33.5%
	日本	1,175	-475	-40.5%	1,145		
	(構成比)	64.3%	57.8%		61.4%		
	米州	176	-112	-63.6%	148		
	(構成比)	9.7%	5.3%		7.9%		
欧州	408	400	-7	-1.8%	439		
(構成比)	22.3%	33.1%			23.6%		
アジア	28	24	-4	-14.2%	23		
(構成比)	1.6%	2.0%			1.2%		
消去または全社	38	22	-15		108		

注: 売上元会社の所在地を元に集計しています。

10/3期 通期
9,748
5,292
54.3%
1,798
18.4%
2,358
24.2%
299
3.1%
1,864
1,145
61.4%
148
7.9%
439
23.6%
23
1.2%
108

11/3期 通期予想	増減率 (対10/3期)
9,420	-3.4%
5,356	1.2%
56.9%	
1,894	5.4%
20.1%	
1,834	-22.3%
19.5%	
336	12.1%
3.6%	
1,240	-33.5%

3. 為替レートの状況

	10/3期 3Q	11/3期 3Q	10/3 期末	10/12 期末
円/USD	94	87	93	81
円/EUR	133	113	125	108

10/3期 通期	93
	131

11/3期 通期予想	84
	112

* 為替レートの変動の影響により、当第3四半期において売上高で361億円の減収、営業利益においては33億円の減益の影響がありました。

4. 研究開発費の状況

	10/3期 3Q	11/3期 3Q	増減	増減率
研究開発費 (対売上高比率)	1,401 18.1%	1,553 21.2%	152	10.9%

10/3期 通期	1,955 20.1%
-------------	----------------

11/3期 通期予想	2,060 21.9%
増減率 (対10/3期)	5.3%

5. 医療用医薬品事業の詳細

1) 主要製品の連結売上高

(億円)

	10/3期 3Q	11/3期 3Q	増減	増減率
プログラフ	1,477	1,250	-227	-15.4%
自社販売計	1,434	1,201	-232	-16.2%
国内	264	303	39	15.0%
米州	567	316	-251	-44.3%
欧州	501	470	-30	-6.1%
内、アドバグラフ	89	102	12	14.3%
アジア	100	110	9	9.8%
輸出外部売上	43	49	5	12.8%
ハルナール	912	512	-400	-43.9%
自社販売計	534	475	-59	-11.1%
国内	280	232	-47	-17.0%
欧州	187	168	-18	-10.0%
内、カブセル	61	60	-0	-1.1%
内、Omic OCAS	126	108	-18	-14.3%
アジア	65	68	3	5.5%
バルク・ロイヤリティ等	378	36	-341	-90.3%
ベンケア	628	658	30	4.9%
国内	172	193	21	12.5%
米州	270	273	2	1.1%
欧州	175	179	3	1.9%
アジア	7	10	2	38.4%
ファンガード/マイカミン	165	189	23	14.5%
国内	94	99	4	4.8%
米州	55	61	5	10.7%
欧州	7	16	8	111.6%
アジア	7	11	4	60.4%
プロトピック	126	122	-4	-3.2%
国内	22	22	0	2.1%
米州	57	52	-4	-7.9%
欧州	41	39	-1	-4.4%
アジア	5	7	1	33.2%

注：個別製品の売上高のうち、国内売上の開示は仕切価ベースです。

10/3期 通期
1,867
1,805
338
681
657
121
128
62
1,139
682
350
243
81
162
86
456
823
229
351
229
10
216
118
75
12
10
164
28
73
55
7

11/3期 通期予想	増減率 (対10/3期)
1,547	-17.1%
1,487	-17.6%
388	14.8%
393	-42.3%
566	-13.8%
140	9.4%
59	-4.2%
646	-43.3%
604	-11.5%
298	-15.0%
207	-15.0%
70	-13.3%
136	-15.8%
92	7.3%
41	-90.8%
895	8.7%
260	13.2%
382	8.7%
238	3.7%
14	36.9%
244	13.2%
122	3.2%
79	4.4%
25	108.2%
18	73.7%
174	5.9%
29	0.9%
80	9.9%
51	-6.9%
13	79.6%

2) その他の主力製品の動向

(億円)

【国内医療用医薬品】				増減		増減率
＜グローバル品(再掲)＞				10/3期 3Q	11/3期 3Q	
プロドラフ(グラセブター含む)				264	303	15.0%
ハルナール				280	232	-17.0%
ベシケア				172	193	12.5%
ファンガード				94	99	4.8%
プロトピック				22	22	2.1%
＜国内製品＞						
リビトール				790	761	-3.7%
ミカルディス				570	588	3.2%
内、ミコンビ				14	39	175.5%
内、ミカムロ(2010年10月発売)				-	13	-
ガスター				399	328	-17.9%
マイスリー				222	248	11.8%
セロクエル				184	203	10.5%
ワクチン				259	172	-33.7%
セフゾン				87	74	-14.9%
フランドル				87	78	-9.8%
ルボックス				75	65	-12.9%
セレコックス				131	190	44.2%
ジェニナック				71	79	10.9%
イリボー				2	13	347.3%
ボノテオ				9	18	98.6%
シムビコート(2010年1月発売)				-	80	-
国内医療用医薬品 計				4,084	4,106	0.5%

注:売上高の開示は仕切価ベースです。

10/3期 通期
338
350
229
118
28

999
716
16
-
499
291
236
252
106
110
94
178
81
2
10
15
5,098

11/3期 通期予想	増減率 (対10/3期)
388	14.8%
298	-15.0%
260	13.2%
122	3.2%
29	0.9%

960	-3.9%
720	0.5%
410	-17.9%
320	9.7%
260	10.0%
197	-22.1%
92	-13.6%
100	-9.4%
82	-13.2%
259	45.3%
94	15.5%
16	637.0%
22	101.9%
103	577.4%
5,181	1.6%

【海外医療用医薬品】		(億円)			
		10/3期 3Q	11/3期 3Q	増減	増減率
スキャン※	米州	340	360	20	5.9%
内、レキスキャン		206	289	82	40.2%
アンビゾーム	米州	49	47	-1	-3.3%
バブリンゾール	米州	8	5	-3	-43.1%
アメビブ	米州	9	7	-2	-24.4%
ヴァイバティブ	米州	3	5	1	35.3%
エリガード	欧州	105	104	-1	-1.1%

※アデノスキャンとレキスキャンの合算

【輸出外部売上】		(億円)			
		10/3期 3Q	11/3期 3Q	増減	増減率
セフゾン		8	10	1	15.6%
セフスパン		54	46	-7	-13.8%

【OSI関連収入】		(億円)			
		10/3期 3Q	11/3期 3Q	増減	増減率
OSI関連収入計		-	220	220	-
タルセバ	米国	-	95	95	-
米国以外		-	68	68	-
DPP4ロイヤリティ		-	52	52	-

10/3期 通期	増減率 (対10/3期)
460	3.4%
302	
62	-8.4%
10	25.4%
12	-14.0%
10	
135	-4.3%

10/3期 通期	増減率 (対10/3期)
11	9.3%
63	-0.6%

11/3期 通期予想	増減率 (対10/3期)
310	-

【欧米地域の売上高の状況】

単位：M\$

米州	10/3期 3Q	11/3期 3Q	増減	増減率
売上高	1,513	1,603	89	5.9%
プログラフ	606	364	-242	-40.0%
スキャン※	363	414	51	14.1%
内、レキスキャン	220	332	112	51.0%
アンビゾーム	52	54	2	4.2%
プロトピック	61	60	-0	-0.8%
ベシケア	289	315	25	8.9%
マイカミン	59	71	11	19.3%
バブリゾール	9	5	-3	-38.8%
アメビブ	9	8	-1	-18.6%
ヴィバティブ	4	5	1	45.8%
タルセバ	-	188	188	-
米国	-	109	109	-
米国以外	-	78	78	-
DPP4ロイヤリティ	-	60	60	-

※アデノスキャンとレキスキャンの合算

10/3期 通期
1,936
734
495
326
67
78
378
81
10
13
4
-
-
-

11/3期 通期予想	増減率 (対10/3期)
2,242	15.8%
465	-36.6%
563	13.6%
67	0.6%
95	20.8%
452	19.5%
93	14.7%
15	37.8%
12	-5.5%

単位：M€

欧州	10/3期 3Q	11/3期 3Q	増減	増減率
売上高	1,383	1,288	-94	-6.9%
ハルナール	425	181	-243	-57.3%
自販 計	141	149	7	5.6%
カプセル	46	53	7	16.0%
OCAS	95	95	0	0.6%
バルクロイヤーティ	284	32	-251	-88.6%
プログラフ	408	458	49	12.2%
自販 計	376	415	38	10.2%
内、アドバグラフ	67	90	23	34.1%
輸出外部売上	31	42	11	37.0%
ベシケア	132	158	25	19.6%
プロトピック	31	35	3	12.2%
マイカミン	5	14	8	148.4%
エリガード	79	91	12	16.1%

10/3期 通期
1,798
533
185
61
123
348
545
501
92
44
175
42
9
107

11/3期 通期予想	増減率 (対10/3期)
1,638	-8.9%
222	-58.3%
185	-0.4%
63	1.6%
122	-1.4%
37	-89.3%
557	2.1%
506	1.0%
51	15.1%
213	21.5%
46	9.1%
23	143.9%
121	12.2%

6. 連結貸借対照表

(億円:億円未満切捨て表示)

科目	2010年12月末	2010年3月末	増減	コメント
	金額	金額		
資産合計	13,023	13,641	-618	
流動資産			-3,562	
現金及び預金	1,405	3,121	-1,716	現金及び預金+有価証券(-3,771) OSI社買収に伴う支出など
受取手形及び売掛金	2,741	2,280	460	
有価証券	195	2,250	-2,054	
商品及び製品	760	827	-67	
仕掛品	149	121	28	
原材料及び貯蔵品	195	161	33	
その他	886	1,137	-251	
貸倒引当金	-12	-16	4	
固定資産	6,699	3,756	2,943	
有形固定資産	1,850	1,844	5	
無形固定資産	3,617	627	2,989	
のれん	1,033	221	811	OSI社買収による増加 OSI社買収による増加
特許権	2,358	-	2,358	
その他	226	406	-179	
投資その他の資産	1,232	1,283	-51	
投資有価証券	640	707	-67	
その他	593	576	16	
貸倒引当金	-0	-0	-0	

(億円:億円未満切捨て表示)

科目	2010年12月末	2010年3月末	増減	コメント
	金額	金額		
負債・純資産合計	13,023	13,641	-618	
負債合計	2,982	3,102	-120	
流動負債	2,289	2,771	-481	
支払手形及び買掛金	982	840	141	
未払法人税等	144	212	-67	
引当金	41	37	4	
その他	1,121	1,681	-560	未払金の減少
固定負債	692	330	361	
退職給付引当金	162	176	-13	
その他の引当金	0	0	0	
その他	529	154	374	OSI社買収に伴う繰延税金負債の計上
純資産合計	10,041	10,539	-498	
資本金	1,030	1,030	-	
資本剰余金	1,768	1,768	-	
利益剰余金	8,858	8,951	-92	
自己株式	-235	-541	306	自己株式
その他有価証券評価差額金	111	141	-29	自己株式の消却(+306)
為替換算調整勘定	-1,506	-825	-681	
新株予約権	14	12	2	
少数株主持分	-	3	-3	

1. グローバル開発品

(1) 承認

開発コード・一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社 /導入	備考
YM905 ソリフェナシン	ベンキアOD錠 (2010年10月)	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	過活動膀胱における 尿意切迫感、頻尿 及び切迫性尿失禁	日本	経口 (口腔内崩壊錠)	自社	剤形追加

(2) 申請中(最も開発の進んでいる地域のフェーズ)

開発コード・一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社 /導入	備考
テラバンシン	脂質化 グリコペプチド系 抗生物質	グラム陽性菌に起因する 複雑性皮膚・軟部組織 感染症	欧州 申請 (09/10)	注射	テラバンス	
		院内肺炎	米国 申請 ^(*) (09/01) 欧州 申請 (09/10)			
		MRSA感染症	日本 P- I			
YM178 ミラベグロン	β3受容体 作動薬	過活動膀胱における 尿意切迫感、 頻尿及び切迫性尿失禁	日本 申請 (10/06) 米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ	経口	自社	
YM150 ダレキサバン	ファクターXa 阻害剤	術後静脈血栓塞栓症予防	日本 申請 (10/09) 欧州 P-Ⅱ 米国 P-Ⅱ	経口	自社	
		心房細動における 血栓症予防	欧州 P-Ⅱ 日本/アジア P-Ⅱ			
		急性冠症候群	欧州 P-Ⅱ			

*2009年11月にFDAより、コンプリートレスポンスレターを受領。2010年12月に2回目のコンプリートレスポンスレターを受領。

(3) P-Ⅲ～P-Ⅱ（最も開発の進んでいる地域のフェーズ）

開発コード・ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
EC905 ソリフェナシン/ タムスロシン	ソリフェナシンと タムスロシンの 併用療法	前立腺肥大症に伴う排尿障害	欧州 P-Ⅲ	経口	自社	
MDV3100	抗アンドロゲン剤	前立腺がん	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅰ	経口	メディベーション	
ASP1941	SGLT2阻害剤	2型糖尿病	日本 P-Ⅲ 米国 P-Ⅱ 欧州 P-Ⅱ	経口	自社 (寿製薬と 共同開発)	
イサブコナゾール	アゾール系 抗真菌剤	侵襲性アスペルギルス	米国/欧州 P-Ⅲ	注射 経口	バシリア	
		カンジダ血症/侵襲性カンジダ症	米国/欧州 P-Ⅲ			
エルロチニブ [*] (タルセバ)	HER1/EGFR チロシンキナーゼ [*] 阻害剤	非小細胞肺がん (EGFR変異患者における 標準治療、アジュバント療法)、 肝細胞がん	米国 P-Ⅲ	経口	自社 (OSI)	効能追加
OSI-906	IGF-1R/IR チロシンキナーゼ [*] 阻害剤	副腎皮質がん	米国 P-Ⅲ	経口	自社 (OSI)	
		卵巣がん、非小細胞肺がん、 肝細胞がん	米国 P-Ⅱ			
YM155	サバヒン 発現抑制剤	乳がん、非ホジキンリンパ腫	米国 P-Ⅱ 欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	注射	自社	
AC220	FLT3チロシン キナーゼ阻害剤	急性骨髄性白血病	米国 P-Ⅱ 欧州 P-Ⅱ	経口	アンビット	
ASP2151	ヘリカーゼ・プライマーゼ [*] 阻害剤	帯状疱疹・性器ヘルペス	日本 P-Ⅱ ^(*) 米国 P-Ⅱ ^(*)	経口	自社	
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	ファイロジエン	
ASP1517 (FG-4592)	HIF安定化剤	腎性貧血	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	ファイロジエン	

*開発中断中

(3) P-Ⅲ～P-Ⅱ（最も開発の進んでいる地域のフェーズ）（続き）

開発コード・ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社 /導入	備考
AGS-1C4D4	抗体(前立腺 幹細胞抗原認識)	膵臓がん	米国/欧州 P-Ⅱ	注射	自社 (Agensys)	
ASP015K	免疫抑制剤	臓器移植における 拒絶反応の抑制	米国 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	自社	
ASKP1240	抗CD40抗体	臓器移植における 拒絶反応の抑制	米国 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	注射	協和発酵 キリン	
OSI-027	mTORキナーゼ 阻害剤	腎細胞がん	米国 P-Ⅱ	経口	自社 (OSI)	
PSN821	GPR119作動薬	2型糖尿病、肥満	欧州 P-Ⅱ	経口	自社 (OSI)	
YM905小児 ソラフェナシ	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	小児の 神経因性膀胱と過活動膀胱	米国/欧州 P-Ⅱ	経口	自社	効能追加
ダイアネキン	ホスファチジルセリン 結合阻害	腎移植後の 臓器機能障害予防	米国 P-Ⅱ	注射	アラウイタ	

2. ローカル開発品：日本

(1) 申請中(最も開発の進んでいるフェーズ)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社 /導入	備考
ASP8825 (XP13512)	ガバベンチンの プロドラッグ	レストレスレッグス症候群	日本 申請 (09/11)	経口	ゼノポート	
YM529 ミトロン酸	骨吸収抑制剤	骨粗鬆症(間歇投与)	日本 申請 (10/09)	経口	自社 (小野薬品と 共同開発)	剤形追加
YM443 アコチアミド	アセチルコリン 分解酵素阻害剤	機能性ディスペプシア	日本 申請 (10/09)	経口	ゼリア新薬	
ASP3550 デガレリクス	GnRH受容体 拮抗剤	前立腺がん (1ヶ月製剤)	日本 申請 (10/10)	注射	フェリソグ	
		前立腺がん (3ヶ月製剤)	日本 P-II			剤形追加

(2) P-III ~ P-II (最も開発の進んでいるフェーズ)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社 /導入	備考
ASP1585 (AMG223)	非吸収性リン吸着 ポリマー	高リン血症	日本 P-III	経口	イリフサ /アムジェン	
YM177 セレコシブ	シクロキナーゼ II 阻害剤	急性疼痛	日本 P-III	経口	ファイザー	効能追加
YM533 ヘパロスタナリウム	プロスタサイクリン 受容体刺激剤	慢性腎不全 (原発性・腎硬化)	日本/アジア P-III	経口	東レ	効能追加 剤形追加
YM060 ラモセロン	5-HT3受容体 拮抗剤	過敏性腸症候群 女性患者	日本 P-II	経口	自社	効能追加
		過敏性腸症候群 (口腔内崩壊錠)	日本 生物学的 同等性試験			剤形追加

3. ローカル開発品：米国

(1) 申請中

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社 /導入	備考
RSD1235 ハナカレント	抗不整脈剤	心房細動	米国 申請 (06/12) ^(*)	注射	カルディオーム	

* 2008年8月にFDAより、承認可能通知を受領

4. P- I

開発コード 一般名	対象疾患	剤形	自社/導入
AGS-16M8F	がん (ADC技術活用)	注射	自社 (Agensys)
ASG-5ME	がん (ADC技術活用)	注射	自社 (Agensys) [シアトルジェネティクスと 共同開発]
ASP3652	過活動膀胱	経口	自社
ASP7035	夜間頻尿	経口	自社
ASP0777	アルツハイマー病[認知症]	経口	自社
ASP3291	潰瘍性大腸炎	経口	自社
FK949E クエチアピン	大うつ病	経口	アストラゼネカ
ASP4178	2型糖尿病	経口	自社
ASP5034	2型糖尿病	経口	自社
ASP1707	前立腺がん、子宮内膜症	経口	自社
ASP0306	前立腺肥大症に伴う排尿障害	経口	自社
ASP4058	多発性硬化症	経口	自社
ASP0456 リナクロチド	過敏性腸症候群	経口	アイアンウッド
AKP-002	前立腺肥大症に伴う排尿障害	経口	あすか製薬
ASP8477	神経因性疼痛	経口	自社
ASP2408	関節リウマチ	注射	ハースード
ASP3026	がん	経口	自社

5. 開発中止品目

開発コード・ 一般名	開発段階 地域	対象疾患	理由
ASP0485 アレファセプト	米国 P- II 欧州 P- II	腎臓移植における 拒絶反応の抑制	欧米のP2試験において、期待された有効性の結果が得られなかったため、腎臓移植における開発中止を決定した。
ASP9831	欧州 P- II	非アルコール性脂肪肝炎	欧州のP2試験において、期待された肝機能の改善が認められなかったため、開発中止を決定した。
ASP6183 (AGS-8M4)	米国 P- II (*)	卵巣がん	前臨床データを総合的に精査した結果、開発中止を決定した。
AGS-16M18	P- I	がん	前臨床及び臨床データを総合的に評価した結果、本抗体の開発を継続しないことを決定した。なお、本抗体の標的は高く評価しており、同標的に対し、より有望な抗体と考えるAGS-16M8F (ADC、P1) の開発を進めていく。

*開発中断中

【2010年11月1日 決算発表からの変更箇所】

申請中

- ・テラバンシンの米国申請 [院内肺炎] の脚注に、2回目のコンプライトレスポンスレターを2010年12月に受領したことを追記した。(下線部)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社 /導入	備考
テラバンシン	脂質化 グリコペプチド系 抗生物質	院内肺炎	米国 申請 ^(*) (09/01) 欧州 申請 (09/10)	注射	テラバンス	

*2009年11月にFDAより、コンプライトレスポンスレターを受領。2010年12月に2回目のコンプライトレスポンスレターを受領。

P-Ⅲ～P-Ⅱ

- ・YM155のメラノーマの適応での開発中止を決定したため、対象疾患から削除した。(下線部変更)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社 /導入	備考
YM155	サバヒン 発現抑制剤	乳がん、非ホジキンリンパ腫	米国 P-Ⅱ 欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	注射	自社	

- ・YM060の口腔内崩壊錠の剤形追加のための日本の試験を追加した。また、欧州での開発を中止したことから、欧州のフェーズⅡ試験を削除した。これに伴い、ローカル開発品の項目に移動した。(下線部追加)

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社 /導入	備考
YM060 ラモセトロン	5-HT3受容体 拮抗剤	過敏性腸症候群 女性患者	日本 P-Ⅱ	経口	自社	効能追加
		過敏性腸症候群 (口腔内崩壊錠)	日本 生物学的 同等性試験			剤形追加

- ・アラヴィタ社から導入したダイアネキシン [腎移植後の臓器機能障害予防] をP-Ⅲ～P-Ⅱのリストに追加した。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社 /導入	備考
ダイアネキシン	ホスファチジルセリン 結合阻害	腎移植後の 臓器機能障害予防	米国 P-Ⅱ	注射	アラヴィタ	

P-Ⅰ

- ・ASP8477 [神経因性疼痛] をフェーズⅠのリストに追加した。
- ・ASP2408 [関節リウマチ] をフェーズⅠのリストに追加した。
- ・ASP3026 [がん] をフェーズⅠのリストに追加した。

開発中止

- ・欧米でフェーズⅡ段階にあったASP0485 [腎臓移植における拒絶反応の抑制] の開発を中止したため、リストから削除した。
- ・欧州でフェーズⅡ段階にあったASP9831 [非アルコール性脂肪肝炎] の開発を中止したため、リストから削除した。
- ・開発を中断していたASP6183 (AGS-8M4) [卵巣がん] の開発中止を決定したため、リストから削除した。
- ・フェーズⅠ段階にあったAGS-16M18 [がん] の開発を中止したため、リストから削除した。

以上